



学ぶ権利を守るためには 「地域の学校」が 必要です!!

競争と経済効率優先の教育施策は見直しを

維新の会がつくった府立学校条例のもと、2014年度から府立高校の通学区が廃止され受験競争は府全体に拡大。学校を生徒獲得競争に投げ込んで負ければ廃校にする施策によって、府の周辺部にある「地域の学校」や、進学を希望する子どもたちを「最後の砦」として受け入れてきた学校が、次々と失われています。将来を担う子どもたちの教育は、競争や経済効率ではなく、「学ぶ権利」を優先すべきです。

「定員」を理由に募集停止された府立高校



地域の学校を守り 20人学級にすれば...



大阪市立高校も統廃合!?

無責任な“丸投げ”移管はやめてください

大阪府・市教育委員会は、大阪市立高校全21校を、2022年4月に大阪府に移管すると発表し、1月に最終決定するとなりました。市立高校の移管に教育上の必要性は何もありません。歴史と伝統ある市立高校を“丸投げ”するなど、きわめて無責任です。しかも、移管すれば府立学校条例の「3年連続…」の規定が適用されるのを見越して、高校つぶしがねらわれているのは許せません。

大阪市立高校の統廃合計画

2022年4月～募集停止

扇町総合高校
西高校
南高校



募集停止時期など詳細は今後検討

泉尾工業高校
東淀工業高校
生野工業高校

